

平成29年度事業計画書

平成29年3月1日から平成30年2月28日まで

I. 事業の計画

1. 基本方針

- ①平成29年度は、公益社団法人としての5年目の事業年度であり、引き続きセルフガバナンスに基づいて、公益目的事業を公正かつ適切に推進する。
- ②会員数増加に向けた諸施策を実行する。
- ③刊行事業については、機関誌3誌の刊行を推進する。まてりあは魅力ある会報とするための施策を引き続き推進する。読み物記事の充実等を図る。日本金属学会誌は投稿・掲載料の無料化を継続して掲載論文数を維持する。日本金属学会誌、Materials Transactions とともにインパクトファクター向上を目指した施策を推進する。合わせて、データ論文のカテゴリーの新設を検討し、誌面の充実を図るとともに、完全オンライン化の検討を行なう。学術図書類は高校向け教材の検討を推進する。
- ④講演会・講習会事業については、春秋の講演大会およびセミナー・シンポジウムの開催を推進する。講演大会は活性化のためのセッション見直しやイベント開催等の施策を推進する。セミナー・シンポジウムは、金属学の基礎を企業の若手研究者・技術者等に教授する新たなセミナーの企画を推進する。
- ⑤調査・研究事業については、0分科の体制強化および研究会活動の強化を行い、調査・研究に関する事業の活性化を推進するとともに、人材育成に関する事業を拡充する。国際学術交流は、IOMMS 連携活動を継続するとともにTMS およびKIMの2国間との交流を推進する。
- ⑥表彰・奨励事業については、昨年度と同様の表彰・奨励を行うが、授賞プロセスの効率化を図る。
- ⑦庶務については、引き続き法令等および本会の定めに則り、公正かつ適切に行う。
- ⑧会計については、引き続き最新の公益法人会計基準および公益認定等ガイドライン等に則り、公正かつ適切に行う。PRICM9の収益によって、平成28年度は講演会・講習会事業の収支相償を満たさない見込みであり、余剰金は講演会・講習会事業拡充資金とし、平成29年度および平成30年度の講演会・講習会事業拡充で消費する。
- ⑨事務局については、職員の高齢化および退職に備えた対応を行う。

2. 学術誌及び学術図書類の刊行(定款第5条第1号)

(1) 日本金属学会会報「まてりあ」

- ①発行
 - ・第56巻3号～第56巻2号、毎月1日発行、各号発行部数5,700部、各号掲載頁数50頁
 - ・電子ジャーナルを毎号刊行する。
- ②特集等
 - ・第56巻 3号 創立80周年記念特集「材料科学の変遷と展望～社会からの要求に応えて」 37編程度
 - ・第56巻 4号 ミニ特集「科学技術界を取り巻く様々な立場からの倫理観」 5編程度
 - ・第56巻 7号 ミニ特集「リチウムイオン二次電池材料開発の近年の進展と展望」 5編程度
 - ・第56巻 9号 ミニ特集 第2分科委員担当 5編程度
 - ・第56巻12号 ミニ特集 第3分科委員担当 5編程度
 - ・第57巻1号,2号 新技術・新製品特集 8編程度
- ③特記事項
 - ・本会創立80周年記念特集号を発行する。
 - ・読み物記事の充実等のまてりあを魅力ある会報とするための施策を引き続き推進する。
 - ・掲載後1年を経過した電子ジャーナルのフリーアクセスを継続する。

(2) 日本金属学会誌

①発行

- ・第81巻3号～第82巻2号、毎月1日発行、各号発行部数900部、各号掲載頁数60頁
- ・電子ジャーナルを毎号発行する。

②特集

- ・第81巻 4号 特集「貴金属のリサイクル関連技術の最前線」 5編程度
- ・第81巻4, 5号 特集「2016年秋期大会講演精選論文」 10編程度
- ・第81巻 8号 特集「環境・エネルギー装置、プラント用高温耐食材料／耐食コーティングの開発と長寿命化」 5編程度
- ・第81巻10, 11号 特集「2017年春期大会講演精選論文」 10編程度
- ・第81巻11号 特集「先端材料の結晶方位分布と関連特性Ⅱ」 6編程度

③特記事項

- ・インパクトファクター向上を目指した施策を推進する。
- ・データ論文のカテゴリーの新設を検討し誌面の充実を図る。
- ・投稿・掲載料の無料化を継続し、論文の投稿勧誘を継続する。
- ・財政改善のため、電子ジャーナルの購読料有料化を検討する。
- ・完全オンライン化の検討を行なう。
- ・平成27年11月に開始した早期公開を継続する。

(3) Materials Transactions

①発行

- ・Vol. 58No. 3～Vol. 59No. 2、毎月1日発行、各号発行部数500部、各号掲載頁数190頁
- ・電子ジャーナルを毎号発行する。

②特集

- ・Vol. 58 No. 3 特集「New Proposals on Titanium Production and Molten Salts」 18編程度
- ・Vol. 58 No. 4, 5 特集「Selected Papers from JIM Fall Meeting 2016」 10編程度
- ・Vol. 58 No. 6 特集「Advanced Structural Materials for Extremely High Temperature Applications in Future」 7編程度
- ・Vol. 58 No. 10, 11 特集「Selected Papers from JIM Spring Meeting 2017」 10編程度
- ・Vol. 58 No. 12 特集「Recent Advances in Materials Science of Solid State Ionics and Its Applications」 10編程度
- ・Vol. 58 No. 12 特集「Kinetics and Phase Relationships for Microstructure Evolution in Metals and Alloys」 10編程度

③特記事項

- ・掲載半年を経過した電子ジャーナルの個人研究目的に限定したフリーアクセスを継続する。
- ・インパクトファクター向上を目指した施策を推進する。
- ・データ論文のカテゴリーの新設を検討し、誌面の充実を図る
- ・特集企画提案を積極的に勧誘し、実施する。
- ・Review, Overviewの投稿勧誘を継続する。
- ・完全オンライン化の検討を行なう。
- ・Materials Transactions共同刊行編集委員会を開催する。(平成29年8月、東京)

(4) 学術図書類

①増刷 1冊

- ・金属化学入門シリーズ／鉄鋼製錬 2,000部

②高校向け教材の検討を行なう。

3. 学術講演会及び学術講習会の開催(定款第5条第2号)

(1) 講演大会

①春期(第160回)大会

- ・平成29年3月15日～17日、首都大学東京南大沢キャンパス（東京都八王子市）
 - a. 大会参加者数：1,400人(予定)
 - b. 講演発表件数：700件(予定)
 - c. 男女共同参画ランチョンミーティング
 - d. 金属組織写真賞作品展示
 - e. 付設展示会、ランチョンセミナー
 - f. 講演概要集DVD、1,500部、平成29年3月1日発行予定

②秋期(第161回)大会

- ・平成29年9月6日～8日、北海道大学（北海道札幌市）
 - a. 大会参加者数：1,500人(予定)
 - b. 講演発表件数：900件(予定)
 - c. 第15回World Materials Day Award展示
 - d. 付設展示会、ランチョンセミナー
 - e. 講演概要集DVD、1,600部、平成29年8月23日発行予定

⑤特記事項

- a. 講演大会活性化のための施策を推進する。
- b. セッションの見直しを行う。
- c. システムを利用したプログラム編成やポスター審査を継続する。

(2) セミナーおよびシンポジウム

①セミナー（3件）

- 1) 状態図および相変態の基礎と応用（セミナーシンポジウム委員会企画）
- 2) 材料の力学特性向上を目指して—最近の実験・計算手法の進展に基づく本質的な理解—（5分科企画）
- 3) 金属学の基礎講座

①金属学会シンポジウム（1件）

- 1) 材料プロセス・インフォマティクス

(3) 支部講演会および講習会（他学協会等との共催を含む）

北海道支部、東北支部、関東支部、東海支部、北陸信越支部、関西支部、中国四国支部、九州支部の各支部で開催

4. 学術に関する調査及び研究(定款第5条第3号)

(1) 研究会(継続9テーマ、新規2テーマ)

①継続テーマ

研究会番号	研究会名
69	エレクトロニクス薄膜材料研究会
70	プラストンに基づく変形現象研究会
71	グリーンエネルギー材料のマルチスケール創製研究会
72	水素化物に関わる次世代学術・応用展開研究会
73	水素誘起超多量空孔研究会
74	チタン製造プロセスと材料機能研究会
75	キンク研究会
76	高温変形の組織ダイナミクス研究会
77	高度超塑性形成研究会

②新規テーマ

研究会番号	研究会名
-------	------

- 78 触媒材料の金属学研究会
79 金属・無機・有機材料の結晶方位解析と応用技術研究会

(2) 分科会

- ①第1分科, 第2分科, 第3分科, 第4分科, 第5分科, 第0分科で活動を実施
 - ・各分科の活動を活発化する。
- ④第3回企業説明会：平成29年3月14日、首都大学東京南大沢キャンパス（東京都八王子市）

(3) 他の委員会活動

- ①企画委員会
 - ・学会の魅力向上及び会員増加に向けた運営課題の検討と施策を企画・推進する。
- ②セルフガバナンス委員会
 - ・コンプライアンス遵守を推進する。
- ③長期展望委員会
 - ・事務局に係る検討を行なう。
- ④戦略推進委員会
 - ・関連学協会との連携を推進する。
- ⑤科研費委員会
 - ・科学研究費補助金に関する情報収集を継続する。
- ⑥人材育成委員会
 - ・高校向けの啓発活動を推進する。
- ⑦男女共同参画委員会
 - ・男女共同参画委員会（日本鉄鋼協会と合同）：平成29年3月、平成29年9月
 - ・男女共同参画ランチョンミーティング：平成29年3月春期講演大会時
 - ・女性会員の集い：平成29年9月秋期講演大会時
 - ・男女共同参画10周年記念講演会：平成29年9月9日、北海道大学で開催予定。
- ⑧国際学術交流委員会
 - ・IOMMS、TMS、KIM、CSM等の海外学協会・団体との交流事業を推進する。

(4) 支部研究会等活動

- ・東北支部、関東支部、東海支部、北陸信越支部、関西支部、中国四国支部で実施

(5) 支部見学会活動

- ・関東支部、関西支部で実施

(6) 国内学協会連携活動

- ①日本学術会議
- ②日本工学会
- ③材料戦略委員会
- ④技術者教育制度認定活動
- ⑤全国大学材料関係教室協議会
- ⑥男女共同参画活動

(7) 国際学協会連携活動

- ①IOMMS(International Organization of Materials, Metals & Minerals Societies)
 - ・第15回World Materials Day(平成29年11月1日)に合わせて、World Materials Day Award Winnerを授賞する。
- ②大韓金属・材料学会(KIM:The Korean Institute of Metals and Materials)
 - ・代表を年次総会へ相互に派遣、招待する。

- ・第17回KIM-JIMシンポジウムを本会主催で平成29年9月の本会秋期講演大会で開催する。
- ③TMS(The Minerals, Metals and Materials Society)
- ・TMS2017春季講演大会へ本会代表を派遣する。
 - ・JIM/TMS Young Leader International Scholar Program交流を推進する。
平成29年3月にTMSから本会2017年春季講演大会に1名を受け入れる。
平成30年3月に本会からTMS2018春季講演大会に1名を派遣する準備を行なう。
- ④中国金属学会(CSM:The Chinese Society for Metals)
- ・国際交流等を検討する。

5. 学術に関する表彰及び奨励(定款第5条第4号)

(1) 名誉員推戴式

- ①名誉員推戴式 平成29年3月15日 首都大学東京南大沢キャンパス (八王子市)

(3) 各賞贈呈

- ①第62回学会賞 平成29年3月15日 首都大学東京南大沢キャンパス (八王子市)
- ②第15回学術貢献賞 平成29年9月6日 北海道大学 (札幌市)
- ③第58回技術賞 平成29年3月15日 首都大学東京南大沢キャンパス (八王子市)
- ④第40回技術開発賞 平成29年9月6日 北海道大学 (札幌市)
- ⑤第67回金属組織写真賞 平成29年3月15日 首都大学東京南大沢キャンパス (八王子市)
- ⑥第48回研究技術功労賞 平成29年3月15日 首都大学東京南大沢キャンパス (八王子市)
- ⑦第75回功績賞 平成29年3月15日 首都大学東京南大沢キャンパス (八王子市)
- ⑧第15回功労賞 平成29年9月6日 北海道大学 (札幌市)
- ⑨第27回奨励賞 平成29年9月6日 北海道大学 (札幌市)
- ⑩第56回谷川・ハリス賞 平成29年3月15日 首都大学東京南大沢キャンパス (八王子市)
- ⑪第23回増本量賞 平成29年3月15日 首都大学東京南大沢キャンパス (八王子市)
- ⑫第7回まてりあ賞 平成29年9月6日 北海道大学 (札幌市)
- ⑬第14回村上記念賞 平成29年9月6日 北海道大学 (札幌市)
- ⑭第14回村上奨励賞 平成29年9月6日 北海道大学 (札幌市)
- ⑮第65回論文賞 平成29年9月6日 北海道大学 (札幌市)
- ⑯第26回若手講演論文賞 平成29年3月15日 首都大学東京南大沢キャンパス (八王子市)
- ⑰第27回若手講演論文賞 平成29年9月6日 北海道大学 (札幌市)
- ⑱第28回優秀ポスター賞 平成29年3月15日 首都大学東京南大沢キャンパス (八王子市)
- ⑲第29回優秀ポスター賞 平成29年9月6日 北海道大学 (札幌市)
- ⑳第25回日本金属学会・日本鉄鋼協会奨学賞 平成29年3月各大学卒業時実施
- ㉑第15回World Materials Day Award 平成29年11月1日 各所属機関において贈賞

(4) 支部表彰事業

- ・北海道支部、関東支部、東海支部、北陸信越支部、中国四国支部、九州支部で実施

6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第5条第5号)

庶務の項に記載

II. 庶務の計画

1. 平成29年度事業に関わる諸会議および諸集会

(1) 本会単独事業

法定機関および任意の合議機関の諸会議	開催回数
社員総会 (定時1回)	1
理事会	8

監事監査	2
会報編集委員会	6
会誌編集委員会	6
欧文誌編集委員会	6
学術図書類刊行委員会	1
講演大会委員会	2
講演大会企画委員会	2
本多記念講演委員会	1
セミナー・シンポジウム委員会	2
企画委員会	6
長期展望委員会	1
セルフガバナンス委員会	1
分科会委員会	2
分科会企画委員会	2
戦略推進委員会	1
科研費委員会	1
人材育成委員会	2
男女共同参画委員会	2
国際学術交流委員会	2
名誉員検討委員会	1
各種賞検討委員会	5
学会賞選考委員会	1
功績賞等各賞の選考委員会	19
支部会議	25

諸 集 会	開催回数
名誉員推戴式	1
各賞贈呈式	20
講演大会	2
シンポジウム	1
セミナー	3
研究会	11
企業説明会	1

(2) 他学協会等連携事業

諸 会 議	開催回数
Materials Transactions共同編集委員会	1
材料連合協議会	0
材料戦略委員会	1
材料戦略委員会企画委員会	1
男女共同参画合同委員会	2
男女共同参画学協会連絡会シンポジウム	1
奨学賞贈呈式	37
World Materials Day Award Winner授賞式	1
KIM/JIMシンポジウム	1

公益社団法人 日本金属学会
平成29年度 収支予算書

平成29年3月1日から平成30年2月28日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	25,148,643	25,132,043	16,600	
特定資産受取利息	25,148,643	25,132,043	16,600	
退職給付引当資産	716,567	702,642	13,925	
減価償却引当資産	573	544	29	
刊行事業資金	6,391,250	6,391,250	0	
刊行事業拡充賛助寄付資金	23,536	20,890	2,646	
講演会・講習会事業資金	5,991,625	5,991,625	0	
PRICM9開催準備資金	0	2,500	-2,500	
講演会・講習会事業拡充資金	2,500	0	2,500	
調査・研究事業資金	5,290,464	5,290,464	0	未経過償還差額40,464円含む
国際学術交流資金	1,734,000	1,734,000	0	
表彰・奨励事業資金	1,050,000	1,050,000	0	
学会賞資金	235,503	235,503	0	
研究技術功労賞資金	119,000	119,000	0	
奨励賞・奨学賞等資金	842,625	842,625	0	
谷川・ハリス賞資金	255,000	255,000	0	
増本量賞資金	595,000	595,000	0	
村上賞資金	1,901,000	1,901,000	0	指定正味財産1,901,000円を振替、未経過償還差額30,380円を含む
受取入会金	90,000	90,000	0	
受取入会金	90,000	90,000	0	
受取会費	68,204,000	42,637,200	25,566,800	
正員受取会費	35,520,000	36,307,200	-787,200	正員数減
学生員受取会費	4,500,000	4,200,000	300,000	
維持員受取会費	26,150,000	0	26,150,000	維持員新設
外国会員受取会費	2,034,000	2,130,000	-96,000	
事業収益	98,091,853	188,363,069	-90,271,216	
刊行事業収益	58,780,753	68,504,463	-9,723,710	
会報購読費収益	1,749,350	5,156,010	-3,406,660	購読数減、機関購読から維持員会費へ移行
会誌購読費収益	4,770,720	10,475,480	-5,704,760	購読数減、機関購読から維持員会費へ移行
欧文誌購読費収益	10,509,560	14,314,560	-3,805,000	購読数減
会報別刷等収益	3,754,800	3,439,800	315,000	
会誌別刷・審査収益	2,568,000	1,387,200	1,180,800	掲載数増
欧文誌別刷・審査収益	25,740,000	23,868,000	1,872,000	掲載数増
刊行事業広告収益	5,304,000	5,244,000	60,000	
講座・現代の金属学収益	2,111,496	2,450,504	-339,008	
金属化学入門シリーズ収益	2,036,867	1,693,983	342,884	
単行本収益	235,960	474,926	-238,966	
講演会・講習会事業収益	33,305,100	111,952,606	-78,647,506	
講演大会参加費収益	14,601,000	13,910,500	690,500	参加者増
講演概要集収益	9,099,500	9,096,000	3,500	
講演大会懇親会参加費収益	861,000	910,000	-49,000	
金属学会シンポジウム参加費収益	900,000	1,050,000	-150,000	
金属学会シンポジウム予稿集収益	20,000	20,000	0	
セミナー参加費収益	2,030,000	410,000	1,620,000	金属学基礎セミナー新設
セミナーテキスト収益	150,000	70,000	80,000	
講演会・講習会事業広告収益	3,363,600	5,960,800	-2,597,200	PRICM9広告なし
PRICM9参加費	0	77,850,000	-77,850,000	PRICM9なし
支部講演会・講習会事業収益	1,800,000	2,307,306	-507,306	H27実績値
講演会・講習会事業委託収益	480,000	368,000	112,000	
調査・研究事業収益	3,360,000	5,260,000	-1,900,000	
調査・研究事業収益	3,360,000	5,260,000	-1,900,000	出前講義なし
表彰・奨励事業収益	2,646,000	2,646,000	0	
審査・投稿料収益	2,646,000	2,646,000	0	
受取補助金等	0	2,800,000	-2,800,000	
受取地方公共団体補助金	0	0	0	
受取地方公共団体助成金	0	2,800,000	-2,800,000	PRICM9助成なし
受取負担金	100,000	110,648	-10,648	
受取負担金	100,000	110,648	-10,648	
受取寄付金	0	16,000,000	-16,000,000	
受取寄付金	0	16,000,000	-16,000,000	指定正味財産刊行事業拡充賛助寄附金からの振替減
雑収益	1,003,275	1,252,708	-249,433	
受取利息	10,000	10,000	0	
雑収益	988,275	940,500	47,775	
支部受取利息・雑収益	5,000	302,208	-297,208	
経常収益計	192,637,771	276,385,668	-83,747,897	

科目	当年度	前年度予算額	増減	備考
(2) 経常費用				
事業費	175,298,291	256,512,451	-81,214,160	
刊行事業費	91,648,171	100,983,967	-9,335,796	
給料手当	22,781,500	27,139,643	-4,358,143	職員減
退職給付費用	2,321,262	2,402,723	-81,461	
福利厚生費	4,510,000	4,495,896	14,104	
会報刊行費	24,889,387	24,795,371	94,016	ページ数増、80周年特集、ライター記事掲載
会誌刊行費	9,203,758	9,945,174	-741,416	印刷会社変更による減
欧文誌刊行費	25,748,264	28,307,160	-2,558,896	印刷会社変更による減
学術図書類刊行費	2,194,000	3,898,000	-1,704,000	増刷数減
講演会・講習会事業費	53,364,264	126,770,711	-73,406,447	
給料手当	15,768,900	16,283,785	-514,885	職員減
退職給付費用	1,392,757	1,441,633	-48,876	
福利厚生費	2,706,000	2,697,536	8,464	
講演大会開催費	22,504,077	19,170,898	3,333,179	秋期大会会場費増、イブニングイベント開催
講演大会懇親会費	1,670,000	1,670,000	0	
本多記念講演開催費	265,810	185,436	80,374	
金属学会シンポジウム開催費	1,344,770	2,215,950	-871,180	開催数減
セミナー開催費	2,351,950	492,325	1,859,625	開催数増、金属学基礎セミナー新設
国際会議開催費	0	4,500	-4,500	
PRICM9開催費	0	77,218,000	-77,218,000	PRICM9なし
支部講演会・講習会開催費	5,360,000	5,390,648	-30,648	
調査・研究事業費	18,632,451	15,880,950	2,751,501	
給料手当	2,278,150	2,713,965	-435,815	職員減
退職給付費用	232,126	240,273	-8,147	
福利厚生費	451,000	449,590	1,410	
関連団体連携事業費	1,500	11,500	-10,000	
日本工学会費	266,155	308,612	-42,457	
材料戦略委員会費	370,000	940,000	-570,000	委員会開催数減
科研費委員会費	197,000	28,975	168,025	
人材育成委員会費	1,265,240	1,180,000	85,240	
男女共同参画委員会費	190,000	190,000	0	
分科会委員会費	6,464,535	5,074,200	1,390,335	分科活動費新設
研究会費	2,000,000	997,656	1,002,344	若手研究グループ新設
企画委員会費	1,327,250	480,000	847,250	委員会開催数増
セルフガバナンス委員会費	83,500	130,000	-46,500	
国際学術交流委員会費	1,594,995	1,334,912	260,083	
支部調査・研究事業費	1,911,000	1,801,267	109,733	
表彰・奨励事業費	11,653,405	12,876,823	-1,223,418	
給料手当	2,278,150	2,713,965	-435,815	職員減
退職給付費用	232,126	240,273	-8,147	
福利厚生費	451,000	449,590	1,410	
名誉員費	201,000	371,000	-170,000	
各種賞検討委員会費	2,041,159	1,922,924	118,235	
学会賞費	904,110	853,100	51,010	
学術貢献賞費	26,500	106,400	-79,900	
技術賞費	78,020	126,500	-48,480	
技術開発賞費	1,736,400	1,524,800	211,600	
金属組織写真賞費	104,230	542,520	-438,290	委員会開催数減
研究技術功労賞費	494,100	668,000	-173,900	
功績賞費	255,080	299,000	-43,920	
功労賞費	20,050	48,020	-27,970	
奨励賞・奨学賞等費	562,070	501,500	60,570	
谷川・ハリス賞費	137,040	161,000	-23,960	
増分量賞費	419,700	433,680	-13,980	
まてりあ賞	4,700	39,680	-34,980	
村上賞費	1,380,750	1,402,540	-21,790	
論文賞費	221,220	315,960	-94,740	
支部表彰・奨励事業費	106,000	156,371	-50,371	
管理費	17,196,519	19,335,153	-2,138,634	
給料手当	4,556,300	5,427,929	-871,629	職員減
退職給付費用	464,252	480,545	-16,293	
福利厚生費	902,000	899,179	2,821	
会議費	825,000	825,000	0	
旅費交通費	3,000,000	2,750,000	250,000	
通信運搬費	300,000	1,106,100	-806,100	電子化
減価償却費	260,000	236,178	23,822	
消耗什器備品費	167,917	45,000	122,917	
消耗品費	40,000	472,000	-432,000	電子化
修繕費	10,000	10,000	0	

印刷製本費	90,000	635,000	-545,000	電子化
光熱水料費	41,050	46,800	-5,750	
賃借料	518,400	518,400	0	
保険料	4,500	4,200	300	
諸謝金	150,000	126,000	24,000	
租税公課	3,300,000	3,330,000	-30,000	
送金手数料	169,000	135,612	33,388	
支払負担金	8,400	8,400	0	
システム管理費	477,700	293,610	184,090	
委託費	1,512,000	1,512,000	0	
雑費	400,000	473,200	-73,200	
経常費用計	192,494,810	275,847,604	-83,352,794	
評価損益等調整前経常増減額	142,961	538,064	-395,103	
評価損益等	0	0	0	
当期経常増減額	142,961	538,064	-395,103	

2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	142,961	538,064	-395,103	
一般正味財産期首残高	1,009,022,615	993,843,995	15,178,620	前年度PRICM9収益による増
一般正味財産期末残高	1,009,165,576	994,382,059	14,783,517	
II. 指定正味財産増減の部				
特定資産受取利息	1,901,000	1,901,000	0	
未経過償還差額金の償却額	30,380	30,380	0	
刊行事業拡充賛助寄付金	100,000	23,000,000	-22,900,000	維持員へ移行
一般正味財産への振替額	1,901,000	17,901,000	-16,000,000	振替額減
当期指定正味財産増減額	130,380	7,030,380	-6,900,000	
指定正味財産期首残高	430,352,406	410,522,026	19,830,380	
指定正味財産期末残高	430,482,786	417,552,406	12,930,380	
III. 正味財産期末残高	1,439,648,362	1,411,934,465	27,713,897	

(注) 1. 小科目の対前年度予算額比30%超かつ50万円超の増減の理由および補足説明を備考欄に記載した。

2. 人件費の配賦率は、刊行事業50%、講演会・講習会事業30%、調査・研究事業5%、表彰・奨励事業5%、法人会計10%としている。